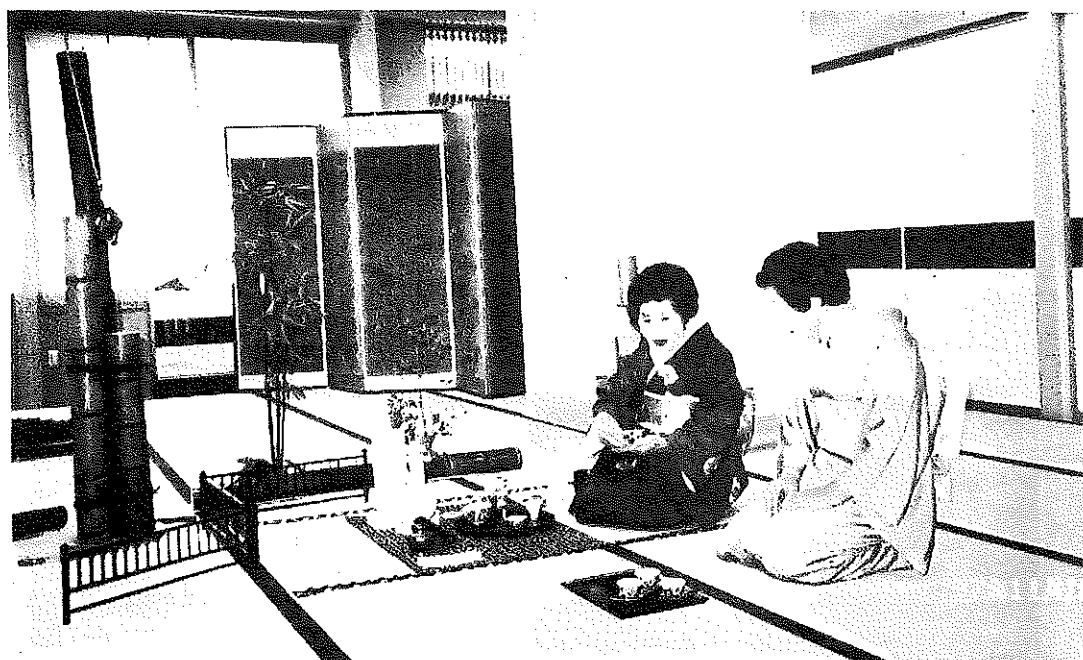


# 福祉のかけ橋

平成10年3月号 第17号



南山見老連の

わがオム△△に参加して

お茶部会員 蓮田 久信

以前からの念願でした公民館の一部改築が、町当局の理解とご協力により、毎年催されている文化祭に間に合うことができ、関係者の皆さん方も大変喜ばれたし、事務所も広くなり、和室も以前と比べ余裕があり、畳もすべて新品に変わって見違えるほど立派になりました。

例年の文化祭には、ご来場のお客様にお茶のサービスを、老人クラブは煎茶で、婦人会は抹茶で一年交代で差し上げております。昨年は、老人クラブの煎茶の順番で、ご来場の皆さんからそれなりの評価をいただいておりますが、お茶の味を最高に出すのは、茗主の腕の見せどころだと謂れています。

お茶部会に参加して既に五年以上にもなりますが、年を重ねる度に記憶力の低下も著しくなり、こんなことならもう少し若い時から習っておいたらと、後悔している今日此の頃です。

## ミニ託老所

### リーダー研修会

知る葉グループ 須川ユキエ

第一回は、「老人の心と体」と題し、デイサービスセンターの山田悦子先生のお話でした。

老人の体は、六十才から体力の減退が始まるので、適度の運動や社会的つながりを大切にして生きがいのある生活につとめること。

ミニ託老所で話し会うときは、少し違った事があったりも納得した返事をする事で、心が晴れることもあるから、共感を大事にするなど種々教えて下さいました。

第二回は、「爽やかな日暮らし縁あるままに」と題し、正安寺の原田典子先生のお話でした。

このお話に先立って、先生から予め戴いた法話のパンフレットの絵に、知る葉グループの皆さんで一枚一枚の絵の文句を味わいながら六十冊色ぬりしました。



法話集に色付け

ご講演の当日、先生からきれいになりましたねと、お褒めの言葉をいただきながら、私達の色塗りしたパンフレットで次の話をして下さいました。

「風も光も仏の命。私のどろんこの底が浄土の入口。このままでいい、そのままがいい。」と柔らかな話が私にはとても馴染み深く嬉しく有難かったあの法話が今も思い浮かびます。

## 第三回 ミニ託老所

### リーダー 宝天杖杖研修会

院瀬見 武田十四子

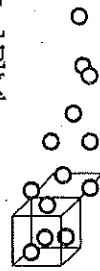
南山見地区の四ポランティアグループとヘルスメイトの協力で一月一七日お世話方の調理実技を兼ねて食会を公民館で開催したところ、多数の参加があり地域の話題も調理の手を弾ませました。

献立は、厚揚げソテー、サバ南蛮漬、カッタージ和え、リンゴキントン、キノコ汁等。柔らかい調理に心がけ、乳製品、緑黄野菜も組み合わせられた見た目も美しい料理に出来上がり、アラアおいしそうと見とれる程でした。

地区の一人暮らし老人や、来賓方からも料理は好評で、お世話方の皆さんは満足そうでした。

この実習で体験したことを、地域のミニ託老所の調理に活かすこと等が皆で話し合われ、よき成果がありました。

合同ミニ託老所  
「敬老の集まり」



南山見地区

前婦人会長吉田 慶子

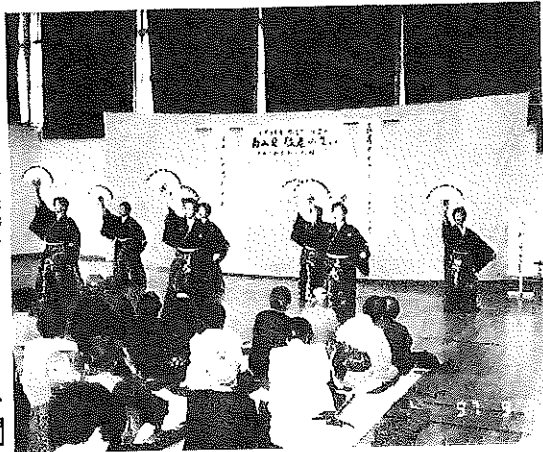
秋分の日には南山見地区の八十歳以上の方々が、楽しい一日を過ごされました。

朝十時すぎ社協の役員が、お迎えにあがりました。久しぶりに会う懐かしい顔、つもるお話しでにぎやかです。

谷浄教寺住職の高瀬顕正氏による「いのちの風光」という題で心浄められるお話を聞きました。

お昼には、食改、ボランティアグループによる手作りの弁当が、とても美味しかったです。

高瀬先生から、食事の前に唱える「いただきます」の言葉の意味は、「私達の食事のために、命を捧げてくれたものに対する、もったいない、ありがたい」と言う感



合同ミニ託老所の余興

謝の意味の言葉であることを聞き、好き嫌いを言わず、残さずに食べることが礼儀だなーと、心に残る言葉でした。

午後からは、踊りあり、大正琴の演奏、三味線に手品と、盛り沢山に楽しみました。

当日都合で来られなかった方にも、饅頭を配り、喜ばれました。来年もまた、お元気で参加をお待ちしております。

地区の全高齢者に  
歳末 お見舞い

沖宮川さえ子

八〇才以上の高齢の方に、南山見地区社協から、毎年歳末お見舞が贈られることになっています。

ボランティアグループで、自分の地域のお年寄りの方へ「心ばかりのものです、どうぞお召し上がり下さい」と、お見舞いのクッキーを差し上げました。

皆さんは、大変喜んで下さいまして、私達がお上げしたものと勘違いしていらっしやるくらいお喜び下さいました。

「これからも健康で長生きして下さいね」と、各ご家庭を訪問してまわりました。この歳末お見舞いは、一人暮らしのお方を始め、地区のお年寄りの皆さんと直接交わす言葉に、暖かみを感じます。

この歳末お見舞いが、これからは、長くと、長く長く続くことを願っています。

## 地域のふれあい シンポジウム

沖 高島清典

「住民参加で広まる福祉」をテーマに、十二月十一日南山見公民館で開催されました。

初めに、「ふれあいから育まれてくるもの」と題して、県民生涯学習カレッジ相談員齊藤源秋先生の基調講演があり、近年ふれあいの心が薄くなっているのではないか、その原因として、小子化。物の見方の多様化等がありもっと子供の時から、家族とのふれあい、地域の人々とのふれあいにより、「思いやりのある暖かい町作りとなるのではないか」と結ばれました。

続いて、シンポジウムに移り、婦人会から吉田慶子氏が、環境美化と資源の再利用、老人クラブから田村一子氏が、ボランティア体験を、青少年育成町民会議から朝倉隆氏、女性プラン推進員の山本康子氏がそれぞれの立場で意見を



ふれあいシンポジウム

述べられました。

最後に、齊藤先生のまとめがあり、有意義な催しでした。

一人暮らし老人を迎え

△云△良△入△流△云△

双葉グループ 畠 和子

一人暮らし老人の方と七〇才以上のご夫婦の方を、公民館へご招待して二月二十一日共に語り合う会食会が催されました。

この日は春の日差しを思わせるような青空でした。民生委員さんの送迎、ヘルスメイトさんのご協力、和やかな交流会でした。座興に須川ユキエさんの絵クイズ、山崎鈴江さんの頓知ゲームあり大笑いしました。昼食の後皆で亀田礼子さんから、タオルで兎の作り方を習い、上手に出来上がったとき、皆さん大喜びでした。

おたより

◇ 大山町より、十一月二十日地区社協とミニ託老所の視察に来訪されました。

◇ 須川ユキエさんが、三月七日中日ボランティア賞を受賞されました。

号数	第一七号
発行	平成一〇年三月号
所在	富山県井波町川原崎
発行者	南山見公民館 南山見地区社協

◎読んだら綴りましょう